



WASEDA University

ワークショップ「中近世キリスト教と知の継承」

開催日時：2024年5月31日（金）／2024年6月1日（土）

開催場所：早稲田大学戸山キャンパス 33号館 16階第10会議室（両日）

※ 両日とも完全対面・非公開

プログラム

第1日：5月31日金曜日

13：45～ 開会挨拶と趣旨説明

13：50～ 参加者の自己紹介

（午後の部）

I. 14：00～14：50 阿部 晃平（立教大学大学院）

初期中世におけるオリゲネス『雅歌註解』伝承の再検討

II. 14：50～15：40 長澤 咲耶（東京大学大学院／日本学術振興会特別研究員 DC1）

「正」と「不正」－ルートヴィヒ敬虔帝の公的贖罪をめぐる考察－

15：40～16：00 コーヒーブレイク

III. 16：00～16：50 上遠野 翔（東京大学大学院）

「同意をもたらすための共働」：サン＝プルサンのドゥランドゥスにおける信仰と学知の共存可能性をめぐる

IV. 16：50～17：40 前田 星（広島修道大学准教授）

近世ドイツにおける神学・悪魔学と刑事司法の交錯

18：00～ 懇親会

第2日：6月1日土曜日

（午前の部）

V. 09：00～09：50 荻野 美櫻子（東京大学大学院／日本学術振興会特別研究員 DC1）

8-9世紀キリスト教神学者から見たイスラーム

VI. 09：50～10：40 清水 悠佑（早稲田大学大学院）

ビザンティン典礼用福音書写本の形成と発展

10：40～11：00 コーヒーブレイク

VII. 11：00～11：50 太田 英侖奈（早稲田大学文学学術院助教）

中期ビザンティン献呈銘文における発話主——パリ 74 番写本の場合——

VIII. 11：50～12：40 林 賢治（アルベルト・ルートヴィヒ大学フライブルク博士課程）

12 世紀ザルツブルクのアウグスティヌス律修参事会員によるベネディクト会系慣習律の受容：
オーストリア国立図書館 1488 番写本の分析

12：40～14：00 昼食休憩

（午後の部）

IX. 14：00～14：50 久納 早智（広島大学大学院）

13 世紀マリョルカ王国におけるプロトコルの作成と管理：ECR 第 341 番、第 342 番、第 343 番
の層位学的検討

X. 14：50～15：40 藤田 風花（大阪公立大学特別研究員／日本学術振興会特別研究員 PD）

オスマン領キプロスにおけるカトリックの宣教活動

15：40～16：00 コーヒーブレイク

XI. 16：00～16：50 櫻田 宗紀（東京大学特任研究員／日本学術振興会特別研究員 RPD）

はだしの王さま：ドイツ王ウィレムと贖宥状

XII. 16：50～17：40 白川 太郎（早稲田大学文学学術院助教）

聖書釈義・説教・識別：13-14 世紀フランチェスコ会の聖人伝における「預言」をめぐって